

2014年10月16日

企業会計基準委員会と米国財務会計基準審議会の代表者による定期会合の開催

企業会計基準委員会
米国財務会計基準審議会

企業会計基準委員会（ASBJ）と米国財務会計基準審議会（FASB）の代表者は、2014年10月14日と15日に、東京で会合を開催しました。この会合は、高品質なグローバルな会計基準の開発へ向けて連携を深めるために、ASBJとFASBが年に2回、定期的に行っているもので、今回で第17回目となりました。

会合では、お互いの活動の最新状況を確認するとともに、両設定主体が関心を有しているテクニカルな項目である「概念フレームワーク」、「開示フレームワーク」、「企業結合」及び「リース」等について議論を行いました。

ASBJとFASBは、引き続き、グローバルな資本市場の健全性に貢献する会計基準の発展に向けて、意見交換していく予定です。なお、次回の会合は2015年上期にノーウオークで開催する予定です。

小野行雄ASBJ委員長は次のように述べています。

「今回の定期会合は、私が委員長となって以来、東京での最初の会合であった。この定期協議は、2006年から長きにわたって開催しているが、大変有意義なものと認識している。今回の会合においても、現在、国際的な会計コミュニティが直面するさまざまな課題について議論を行うことができ、実りあるものであったと考える。また、今回の会合での議論が、日米両国のそれぞれの自国基準に貢献するだけでなく、IASBが開発するIFRSにも貢献するものと考えている。」

ラッセル・ゴールデンFASB議長は次のように述べています。

「FASBは、小野行雄氏がASBJの議長に就任して以来、初めて主催する定期協議のために東京を訪問できたことを喜ばしく思っている。今回の会合では、両ボードが、会計基準の比較可能性の向上のために考えられ方法を含め、多くの会計上の論点について意見を交換することができ

た。我々は、国際的な協働の精神に対するASBJの貢献を評価しており、今後も末永く会合を継続していくことを楽しみにしている。」

企業会計基準委員会 (ASBJ) について

ASBJ は、2001 年 7 月に民間部門の機関として設立された。ASBJ が開発した会計基準は、金融庁により一般に公正妥当と認められた企業会計の基準として認められることとなる。ASBJ は、企業が活動している環境を適切に反映した会計基準及び適用指針を開発している。ASBJ は、海外の会計基準設定主体とコミュニケーションを取り、グローバルな会計基準の開発に貢献している。ASBJ に関する詳細な情報は、ホームページ <http://www.asb.or.jp/> をご参照いただきたい。

米国財務会計基準審議会 (FASB) について

FASB は、1973 年以来財務会計及び財務報告基準を設定するための民間部門の機関として指定されている。それらの基準は、財務報告書の作成を規定し、証券取引委員会及び米国公認会計士協会により権威のあるものとして正式に認識されている。投資家、債権者、監査人及びその他の人々は、信頼性、透明性、比較可能性のある財務情報を必要とするため、このような基準は、経済の効率的機能にとって不可欠である。FASB に関する詳細な情報は、ホームページ www.fasb.org をご参照いただきたい。